



河北診療所 耳鼻科

はじめまして | 診療案内 | 医師紹介 | 所在地案内 | お問い合わせ

耳なりにお困りの方

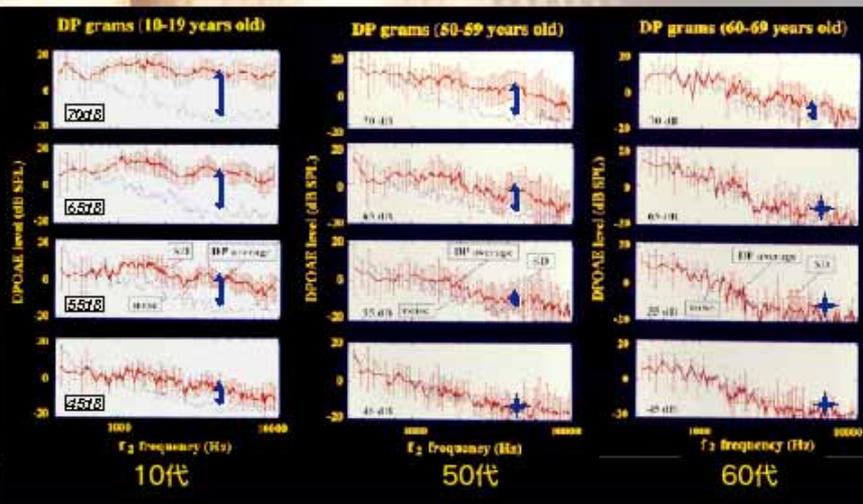
難聴にお困りの方

デジタル補聴器

音が聞こえる仕組み

耳音響放射(OAE)は年齢によりどう変化するか?

耳音響放射(OAE)は年齢によりどう変化するか?



↑ エコーあり

★ エコー消失

© 河北診療所 耳鼻科

年齢によるエコー検出の変化

耳音響放射検査を10代、50代、60代の人々に行った結果、10代では、左の4枚の図のように、入力音が70デシベルから次第に小さくても、全ての検査でエコーが検出されましたが、50代では、55デシベルで限りなく小さくなり、45デシベルでは消失しました。60代では、70デシベルで既に小さくなり、65デシベル以下では完全にエコー消失となっています。

このように、健康で通常の社会生活を営んでいる人々でも、年齢による「外有毛細胞」の機能低下は避けられません。この低下傾向は、個人差が激しく、かなり結果にばらつきが出ますので、各人が検査を受けてご自分の聴覚の現状を把握されますようお勧めします。



前のページ



次のページ

- [高齢者の難聴について](#)
- [会話がハッキリと聞き取れる仕組み](#)
- [年齢による純音audiogramの変化](#)
- [耳音響放射検査\(OAE\)とは？](#)
- [エコーの検出](#)
- [耳音響放射\(OAE\)は年齢によりどう変化するか？](#)
- [エコーが消失する理由とその対策](#)
- [最近のデジタル補聴器](#)

Copyright 2006 Kahokushinryoujo All Rights Reserved.